



茂呂 孝志 議員

- どうなる子育て支援
- 子ども医療制度の拡充は
- 国保税の引き下げは
- 今後の大平楽など施設運営は
- 鳥獣対策は



医療費が伸びる中で、町も最大限の配慮を行っています。

今後の大平楽など施設運営は

問 今年の9月議会で、「売却を考えてよい時期に来て」と答弁している。売却する施設は土地も含めて、大平楽・さわやか市・ログハウスとその周辺の施設も含めているのか。

答 町長 平成24年度内に売却か否かを決定します。

問 駆除期間外に豊前市・中津市は一頭につき5千円の報奨金を支払っている。町も支援する考えはないか。

答 産業振興課長 考えていませんし、今後も助成する予定はありません。

答 産業振興課長 資格取得時に県や町は補助しています。又弾代も含め駆除委託料に対応しています。

子ども医療制度の拡充は

問 通院・入院を中学3年生まで無料にしている自治体が増えている。本町の通院は就学前まで無料なので高校3年生まで無料にしないか。

答 健康福祉課長 当面は現行で行います。

国保税の引き下げは

問 平成22年度、町の実質収支額は2億9千万円赤字です。国保税を一世帯1万円引き下げても1、200万円あれば実現するではないか、国保税を引き下げの考えはないか。

答 健康福祉課長 平成22年度に一般会計から法定外繰り入れが4,300万円、基金から3,200万円繰り入れている。今後さらに

問 売却後、営業不振などで、土地が産廃業者などに売却され、周辺の環境に問題が生じるとは考えないか。

答 企画情報課長 売却契約の中で特約条項を設けることもできます。

鳥獣対策は

問 資格所得やその維持費を町が全額負担してはどうか。



箱わなの組み立て



高畑 広視 議員

保育所の民営化は

保育所の民営化は

問 議会は鹿児島島の伊崎田保育園の教育現場を視察(P14参照)しましたが、これを踏まえて町の保育所の民営化について、どう考えるか。

答 町長 現在のところ民営化の具体的な検討は行っていません。町は総合計画あるいは集中プランに基づき、公共施設について住民負担を軽減するという方向でそれぞれ取り組みをやってきましたし、今後は、保育所についても対象とすべきだろうと思います。つまり、聖域を設けてはならないということですので、そういう方向で検討を進めています。民営化すれば公募ということになります。公募の際には応募して頂ければ、必ずしも選定

の外に出ることにはならないと思います。

問 ヨコミネ式の導入の考えはあるか。

答 町長 跳び箱などの設備、学習、あるいは音楽の楽器、パソコンなどを含め、それだけの施設を確立しないと、期待に応えられるような保育はできないでしょう。町職員はヨコミネ式というのをまだ承知していないと思います。実際どのように教育しているのか、そのDVDを教育長と大平、新吉の保育所へ渡しました。その結果、保育所の職員は承知していると思います。ヨコミネ式を導入する場合はまず保護者、あるいはそれに関して支障などが起きた時にどうするかが一番のネックだろうと思います。導入する場合、十分

な準備期間が必要だろうと思います。その辺が可能であれば、公的保育であっても導入は可能です。ヨコミネ式という優れた保育のあり方を参照し、あるいは取り組むこともまた考えなければならぬだろうと思います。

問 ヨコミネ式では、できない子ができるようにするというのが役目と聞いていますが、これについて教育長の見解は。

答 教育長 DVDを見ましたが、運動、文芸などの感覚能力はどの子にも伸びる可能性があるわけですね。

問 一つでも取り入れたらどうか。

問 究極のところ教育とは何ですか。

答 教育長 教育とは、人格形成です。それぞれ、一人ひとりの子どもの人格を形成する。それに携わるのが私も教師の仕事であります。



ポッポ保育園